

2026 年 8 月 26 日

株式会社オプロ

「帳票 DX」公式サイト、AI 活用を新たな柱にリニューアル
帳票 DX の価値を、帳票を"作れる"から業務を"任せられる"へ

株式会社オプロ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：里見 一典、以下「オプロ」）は、クラウド帳票サービス「帳票 DX」の公式サイトを 2026 年 8 月 26 日にリニューアルしたことをお知らせいたします。

今回新設した AI 対応ページでは、「帳票のことは、AI にここまで任せられる」をテーマに、チャットツールから自然言語で帳票を発行するなど、MCP を使った新しい業務体験を紹介しています。一方で、発行の品質を担保し、証跡を残す領域については「帳票 DX」が担う、という役割の分担も示しています。

あわせて刷新したサービス全体像では、業務システムへのデータ入力、帳票作成、送付、証跡の保管と、各工程のサービスを「データをつなぎ、帳票で届ける」というコンセプトのもと一体で提示しています。「帳票 DX」を、帳票を"作れる"から業務を"任せられる"サービスへと再定義し、お客さまの帳票業務を支えていきます。

「帳票 DX」の公式サイトはこちら：<https://service.opro.net/formdx>

「帳票 DX AI 対応ページ」はこちら：<https://service.opro.net/formdx/features/ai>

 **帳票DX**

**「帳票DX」公式サイト、
AI活用を新たな柱にリニューアル**



≡ 帳票DX

製品 ▾ 業界別 ▾ AI対応 機能 ▾ 導入事例

資料ダウンロード お問い合わせ

データをつなぎ、
帳票で届ける

現場入力から帳票生成、配信、保管まで対応。

業務プラットフォームのデータを帳票に変換し、企業活動を支えます。

データ入力

帳票作成

配信・管理

資料ダウンロード → お問い合わせ

見積書

〒000-0000 株式会社オプロ商事
ご担当様
下記の通りお見積り申し上げます。

発行日: 2026年8月25日
伝票番号: 123456
オプロ株式会社

お見積金額 ¥1,091,200

支払条件: 月末締め翌月末払い
有効期限: 2026年9月30日

商品名	数量	単価	金額
ノートパソコン 15インチ	5	128,000	640,000
液晶ディスプレイ 27インチ	8	32,000	256,000
ドッキングステーション	8	12,000	96,000
小計			¥992,000
消費税(10%)			¥99,200
合計金額			¥1,091,200

備考

サイトリニューアルの背景

生成 AI や AI エージェントの普及により、誰でも短時間で業務システムやアプリケーションを組み上げられるようになりつつあります。帳票の現場でも、AI による帳票出力や帳票ツールの内製が始まっています。こうした時代背景の中、オプロは帳票デザインを AI が自動認識する「帳票 AI マッピング」の提供や、AI エージェントから帳票の発行を直接指示できる MCP への対応など、帳票業務での AI 活用に積極的に取り組んできました。

一方で、AI による効率化がどれだけ進んでも、帳票が会社の信頼に直結する文書であることは変わりません。帳票を発行する企業には、電子帳簿保存法やインボイス制度への対応に加え、常に高品質・形式の揃った帳票を発行し続け、記録を残すことが求められます。AI で帳票作成ができて、この要請に応え続ける仕組みがなければ、内製した帳票ツールの運用が行き詰まるという声も聞かれるようになりました。

オプロが「帳票 DX」で担ってきたのは、まさにこの仕組みです。今回、AI の活用を前提に「帳票 DX」の価値を捉え直し、公式サイトのリニューアルに至りました。

リニューアルのポイント

新しいサイトのポイントは、次の二つです。

AI 対応ページ:「帳票のことは、AI にここまで任せられる」

新設した AI 対応ページでは、AI を活用した新しい帳票業務の具体的なユースケースを紹介しています。MCP を介して、チャットからの指示で見積書の発行・送付・保管までを完了するケースや、CRM や人事システムといった業務で使うシステムと連携して帳票発行するケースをご確認いただけます。

同ページでは AI に委ねる範囲の見極め方も示しています。文書のリスクと運用の重さの 2 軸で見たとき、会社の信頼に直結し、継続的な発行が求められる帳票ほど、仕組みが必要です。AI が担う領域と、テンプレートによる安定した出力、元データをそのまま反映する設計、発行記録の管理など「帳票 DX」が担う領域の分担を提示しています。

サービス全体像:「データをつなぎ、帳票で届ける」

刷新したサービス全体像では、帳票は発行するだけでなく、相手へ届き、記録として残るところまで求められる文書である、という考えのもと、「帳票 DX」が担う一連の流れを紹介しています。

AI の活用が広がるほど、データを業務システムに正しく蓄積し、正しく使うことの重要性は増していきます。Salesforce・kintone・SmartHR・SAP・HubSpot などのプラットフォーム上で動き、業務システムへのデータの入力、帳票の作成、相手への送付、そして記録の保管までを担う。この全体像を「データをつなぎ、帳票で届ける」というコンセプトとして提示しています。

帳票 DX について

「帳票 DX」は、データ入力から帳票作成、配信・保管までを一つの仕組みでつなぐクラウド帳票サービスです。Salesforce・kintone・SmartHR・SAP・HubSpot などのプラットフォーム上で動き、業務システムのデータを活かした帳票業務を実現します。AI を活用した帳票作成の効率化や AI エージェントとの連携を進めるほか、電子帳簿保存法やインボイス制度などの法改正にも対応しています。現在、2,000 社を超えるお客さまにご利用いただき、政府のセキュリティ評価制度である ISMAP のクラウドサービスリストにも登録されています。「帳票 DX」は、帳票業務から企業活動を支えています。

・サービスサイト: <https://service.opro.net/formdx>

株式会社オプロ

オプロは「make IT simple」のミッションのもと、お客様の新たなビジネスや価値の創出を支援します。「Less is More」を開発指針とし、データオプティマイズソリューション・セールスマネジメントソリューションを通して最適なサービスを提供しております。そして、真の顧客サクセスを実現すべく、サービスを更に進化させてまいります。

・ <https://corp.opro.net/>

■ 本件に関するお問い合わせ先 ■

株式会社オプロ（東京都中央区京橋 2-14-1 兼松ビルディング 9F）

お問い合わせ先: <https://corp.opro.net/contact/media.html>（広報チーム）